



## 大災害に備えて自家発電設備を整備



近年、日本各地で土砂災害や洪水等の自然災害が発生し、長時間の停電によって照明、空調の停止や断水等が起き、企業活動に大きな影響を及ぼしているという報道は記憶に新しいところです。特に高齢者施設においては、このような被害が生じると、より深刻な事態となります。

庄川福祉会では、不測の停電に備え、このたび国の補助金(地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金)を活用して、非常用自家発電設備を整備しました。

この整備によって、停電となった場合も電源供給が可能となり、照明、空調、エレベータのほか、吸引・酸素供給設備も停止することなく、入所者様をはじめ利用者の皆様が、安心・安全に生活することができるようになりました。同時に施設職員も安心して働くことができる環境を整えることができました。

これからも安心・安全な介護施設として計画的に対策を講じていきます。



総事業費 56,540 千円  
 うち補助金 42,405 千円

## 委員会・部会紹介

4月から新メンバーでの委員会・部会活動が始まりました！

各種委員会・部会では、利用者様の利用環境や職員の就業環境を向上するため、定期的に勉強会、報告会及び話し合い等を行っています。各事業所内の職員だけでなく、事業所間をまたいでの活動を通じて法人全体でのつながりを大切にしています。私たちの施設にはさまざまな委員会・部会を設置していますのでご紹介します。



### 委員会

- ・身体的拘束適正化  
虐待防止検討委員会
- ・感染防止対策委員会
- ・事故防止検討委員会
- ・給食管理委員会
- ・安全衛生委員会
- ・広報委員会
- ・防災対策委員会
- ・ボランティア委員会

### 部会

- ・研修部
- ・広報部
- ・営繕部
- ・行事部

コロナ禍の中、感染対策に配慮し、職員全体での意識を高めることができるように研修や勉強会を開催しています。活動により職員一人一人が正しい知識を身につけることで、仕事に活かしてより良いケアを提供できるように利用者様に寄り添っていきたくと思っています。また、安全な利用環境が確保できるように努めています。



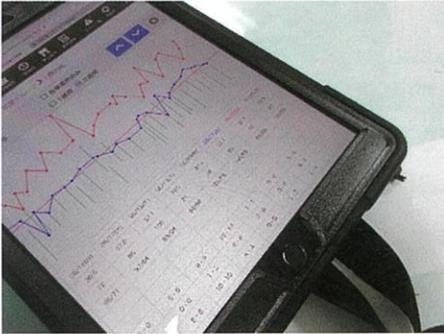
## 介護老人保健施設

## ケア記録システム導入！



介護老人保健施設では、4月から入所者様の毎日のケア記録をタブレットを用いて入力しています。タブレットは持ち運びができるので、入所者様の健康状態や介護状況をその場で簡単に入力できます。また、見たい情報をリアルタイムに確認することもできます。さらに、タブレットを通して事業所間の情報共有もスピーディに行えるようになりました。

早く操作に慣れるため職員全員で頑張っています。タブレットの活用、電子カルテ化により、入所者様と関わる時間の増加につながります。少しずつでも時間に余裕ができ、より良いケアを提供できるようにしていきたいと思ひます。



バイタル(心拍数・呼吸数・血圧・体温)の変化がグラフで見れます



日々の記録を入力します



持ち運んで入力できます

## 通所リハビリテーション



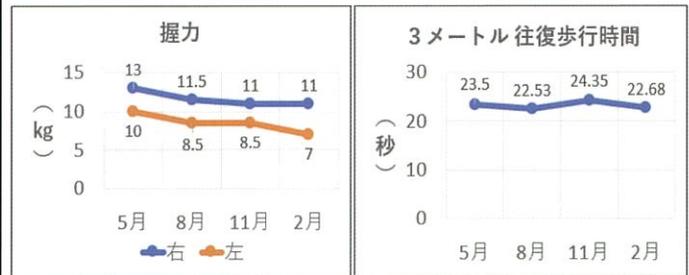
振り返り

通所リハビリテーションでは、3か月ごとに体力測定を行っています。測定項目は握力と歩行です。1年分の結果をまとめて、振り返りをしています。グラフにすることにより数値の変化が分かりやすくなります。

結果を通して、体力の衰えや維持できていることをご家族様と共有することにより、リハビリへの意欲につながります。

平均年齢 男性：82歳 女性：87歳

### 庄川花子様



大きな変化はなく、維持されています。これからもリハビリを継続しましょう。

コメント

握力

男性平均：左20 kg、右18 kg  
女性平均：左11 kg、右12 kg

3メートル往復

男性平均：21秒  
女性平均：25秒



3メートル先の杖を回って、戻るまでの時間を測定します

## デイサービスセンター



### 扇子での当てゲーム

デイサービスセンターでは、毎週レクリエーションを企画し、参加していただいています。レクリエーションには、心身の健康維持・QOLの向上・脳機能の活性化などのねらいがあります。高齢者の運動不足は、筋力低下や生活習慣病のリスクを高める原因の一つです。レクリエーションを通じて適度に身体を動かしたり、他者と交流することは、健康寿命を伸ばすことにつながります。

今回は、5～6月に企画したレクリエーションの一部をご紹介します。参加された利用者様は、自分のチームを応援し合ったり、時には笑い声が聞こえたりと、にこやかな表情をされており、楽しい雰囲気でも盛り上がっていました。



※ QOL とは、「人生の質」、「生活の質」と訳されることが多く、私たちが生きる上での満足度を表す指標の一つです。心身の健康や良好な人間関係、楽しみである遊び・余暇、快適な自宅・地域の環境など様々な観点が含まれています。

### 言葉づくりゲーム



### 鯉のぼりカゴ移しゲーム



### 新聞紙引っ張り合いゲーム



## 予防ひろば

### 5月は井波別院瑞泉寺の藤が綺麗でした



歳を重ねることで、聴力・視力が衰えたり、身体が思うように動かなくなったり、認知機能が低下したりと、できないことが増えてきます。だからと言って動かないでいると、ますます心身ともに衰えてしまうことにつながります。

外出して自分の足で歩くことで運動にもなります。また気温を感じたり、植物を観たりすることで四季を肌で感じられます。見当識を高めるためにも良い影響があり、認知症予防や進行緩和にも効果があります。

予防ひろばでは、5月に井波別院瑞泉寺の藤を見学しました。風が吹くと藤棚に垂れる淡い紫色の花房が揺れ、甘い香りが漂っていました。

※見当識とは、日付や現在の時刻、場所や周囲の状況、人物の把握などを総合的に判断し、自身が現在置かれている状況を把握し、理解する能力のことをいいます。



## 居宅介護支援事業所・在宅介護支援センター



本年4月にケアポート庄川の正面玄関から入って左側の『居宅介護支援事業所・在宅介護支援センター』に異動となりました浦辻と申します。介護支援専門員(ケアマネジャー)としては、在宅部門は初めてなので、諸先輩方から指導を受けています。また、関係各所の方や地域の方からもご指導いただくことが多く、日々学ぶことばかりです。

これまでの入所部門や通所部門における介護経験を活かし、これからは在宅側から支援させていただけるよう、努力して参ります。

今後とも、よろしくお願いいたします。

### ● 居宅介護支援事業所 ●

業務内容は、ケアポート庄川だより第6号と第8号において掲載いたしました。改めてご紹介させていただきます。

【サービス内容】 介護支援専門員(ケアマネジャー)がご利用者やご家族の希望に沿ってサービス計画(ケアプラン)等を作成し、在宅生活のサポートをしています。

【サービス提供地域】 砺波市(旧庄川町、中野地区・五鹿屋地区)、南砺市(旧井波町)

### ● 在宅介護支援センター ●

在宅介護に関する総合的なご相談に応じています。例えば、介護認定を受けておられない方(家族の方)が、「介護保険サービスを利用するにはどうすれば良いか」という相談や、申請の代行をしています。また、現在砺波市の委託を受けて、旧庄川町、中野地区を中心に80歳になられる方を訪問して、健康状態の確認をさせていただいています。昨年度以前に訪問しました方におかれましても、継続訪問しておりますので連絡がありましたらよろしくお願いいたします。

もの忘れが増え生活に支援が要するようになってきた。



足腰が弱り始めたから予防したい。

ひとり暮らしの親が心配...

介護サービスを利用したいが方法がわからない。

## 庄川クリーン大作戦



6月4日から5日にかけて3年ぶりに復活した庄川観光祭では、極彩色に輝く夜高行燈が街を練り歩き、祭りを盛り上げました。舟戸橋近くで開かれた花火大会では2千発の大輪が夜空と川面を鮮やかに染められ、歓声が聞かれました。

5日早朝には、東となみロータリークラブさんの主催で庄川地域中心部のゴミ拾い集めのボランティア活動が行われ、私たち庄川福祉会も参加させていただきました。庄川支所から花火会場になった河畔や水記念公園までを約1時間かけて往復し、ゴミを拾いました。きれいになった街内は気持ちが良いですね！

